

2017 年 1 月～現在までに慢性腎臓病で保存的療法を受け亡くなられた患者のご家族へ

課題名 高齢慢性腎臓病患者の保存的腎臓療法による終末期の解析

1. 研究の対象

2017 年 1 月～2025 年 6 月までに 65 歳以上の慢性腎臓病 (CKD) の方で透析や腎移植を行わず保存的腎臓療法 (CKM) を選択され、当院にて亡くなられた患者を対象としています。

2. 保存的腎臓療法 (CKM) とは

保存的腎臓療法 (CKM) とは、慢性腎臓病 (CKD) が進行して、慢性腎不全になってしまった場合に、残された腎機能を守るための治療と生活習慣の改善を行う治療のことです。高齢者やがん患者、生活機能や認知機能低下患者などの場合には、本人・家族と医療スタッフとで人生会議 (アドバンス・ケアプランニング) を行った上で腎代替療法 (透析や腎移植) ではなく CKM が選択されることがあります。CKM は医療チームにより患者さんの生活の質と症状のコントロールに焦点を当てたケアが行われます。

3. 研究目的・方法

CKD に対して CKM を選択した場合、終末期から死亡にいたる過程で尿毒症症状が出現します。中には苦痛を伴う例もあり、緩和ケア (麻薬や鎮静薬) を必要とします。しかしながら CKM の終末期から死に至る過程を詳細に検討した報告はありません。そのため本研究では高齢 CKD に対し CKM を選択し死亡された患者について苦痛を生じ緩和ケア (鎮痛薬、麻薬) を必要としたかを含め解析します。

4. 研究期間

研究倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日

5. 研究に用いる情報

年齢、性別、現病歴、既往歴、手術歴、合併症、尿毒症症状、内服薬、喫煙歴、飲酒歴、同居者、自宅/施設、身長、体重、BMI、血圧、脈拍、臨床検査：血液検査 (WBC, RBC, Hb, Ht, Plt, Alb, BUN, Cre, eGFR, CysC, eGFR-cys, UA, Na, K, Cl, Ca, iP, HCO₃⁻, T-Bil, AST, ALT, LD, ALP, γ -GTP, CK, BS, HbA1c, T-Cho, HDL-C, TG, Fe, TIBC, Ft, HCO₃⁻, BNP, iPTH)、尿検査 (定性、沈査、定量 (TP/Cr, Na, K)、胸部レントゲン、心電図、体液量、フレイル・認知機能 (CFS, DASC)、アドバンス・ケア・プランニングの内容、麻薬、鎮静薬、死亡日、死因などの情報を頂きます。

研究のために血液や尿などの試料を頂くことはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話：03-3964-1141 FAX：03-3964-1982

E-Mail： takashi_takei@tmghig.jp

研究責任者：東京都健康長寿医療センター 腎臓内科・透析科部長 武井 卓